

各位

令和8年10月2日（金）

沖縄県保健医療介護部地域保健課 感染症対策班

インフルエンザの流行状況について ～インフルエンザ警報発令～

1 概要

感染症発生動向調査による本県のインフルエンザ定点からの患者報告数が、2026 年第 39 週（9 月 21 日～9 月 27 日）に定点当たり 42.50 人（定点医療機関 44 カ所、報告数 1,870 人）となり、インフルエンザ警報の発令基準値である 30 人を超えましたので、インフルエンザ警報を発令します。本県での警報発令は、2025 年 1 月 14 日以来となります（発令期間は 1 月 14 日～2 月 28 日）。

マスコミの皆様には、県民への「手洗い」「咳エチケット」「換気」等の感染予防策の周知について、引き続きご協力いただきますようお願いします。

2 インフルエンザの流行状況

本県では、県内の 44 定点医療機関（小児科定点：24、内科定点：20）の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

本県のインフルエンザ定点当たり患者報告数は、2026 年第 36 週の注意報発令後も、第 37 週が 16.61 人、第 38 週が 26.30 人、第 39 週が 42.50 人と増加傾向にあります（図 1）。

第 39 週のインフルエンザウイルス型別報告数は、A 型 1,555 人（83.2%）、B 型 0 人（0.0%）、不明 315 人（16.8%）で、年齢階級別患者報告数は、60 歳以上が 437 人（23.4%）と最も多く、次いで 40～49 歳 214 人（11.4%）、1～4 歳 205 人（11.0%）の順となっています（表 1、表 2）。

保健所別の定点当たり患者報告数は、那覇市が 60.78 人で最も多く、次いで南部 57.17 人、北部 35.60 人、中部 25.77 人、八重山 25.00 人、宮古 24.50 人の順となっています（表 3）。

学級閉鎖等の措置は、9 月 24 日～10 月 2 日に中部・南部・八重山・那覇市管内の小・中・高校計 12 校で実施されています（表 4）。

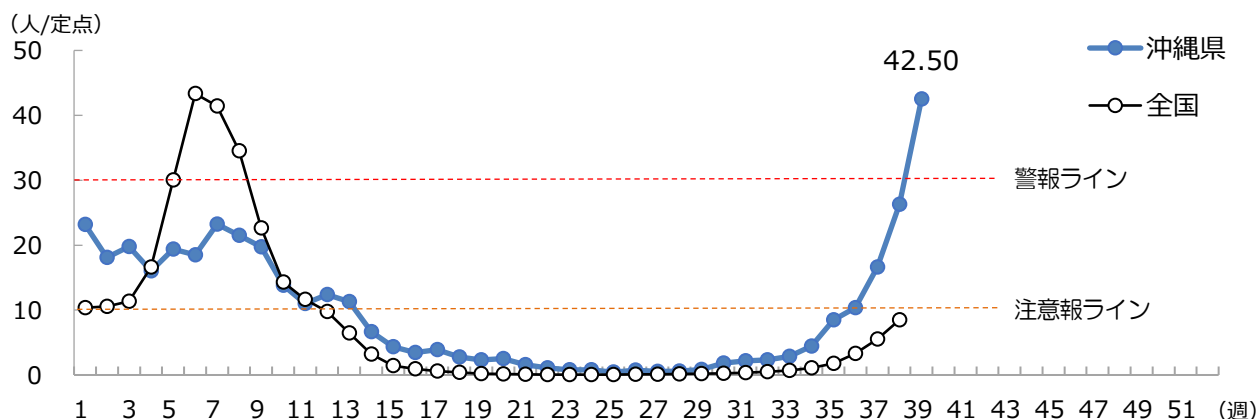


図 1 定点当たりのインフルエンザ報告数(沖縄県、全国)